

光ミュージアム 年報 2025

HIKARU MUSEUM

第17号

令和7年

一般財団法人 光ミュージアム



目次

はじめに	3
------	---

光ミュージアムの理念

テーマ「光」	4
地域に貢献できる博物館活動	4
生涯教育に役立つ博物館	4
国際交流の推進	4

展示概要

特別展 葛飾北斎 富嶽三十六景展	5
企画展 ドキドキ！世界の土器くらべ	7
企画展 人間国宝 芹沢銈介展 伝統×革新のデザイン＝型絵染	8
企画展「アンデスの人々」ペルー、クスコでの出会い	9
追悼展示 長嶋茂雄さん追悼特別展示	9
右卿記念室	11
常設展 書コレクション	11
常設展 飛騨展示室	13
常設展 人類史展示室	17
常設展 美術展示室	19

イベント企画

彬子女王殿下 特別講演会「英国で学ぶ日本文化」	23
ナイトミュージアム	24

普及活動

一般向け活動	24
音声ガイド	24

体験学習	25
謎解き	27
外部連携活動	27
出張美術館	27
学校連携活動	29
岐阜女子大学 書道部練成会	29
日本大学 科学教室	29
中学校職場体験	30
その他連携活動	30
地域お仕事発見隊	30
高山市文化協会事業「子ども夢創造事業」	29
 資料貸出	
貸出資料	31
 施設概要	
利用案内	32
フロアガイド	33
建物概要	34
 付録	
作品リスト	35

光ミュージアムは、平成 11 年 4 月の開館より 26 年を迎えました。

当館は、美術・考古学・自然科学の各分野にわたる資料の収集・保存・調査研究・展示公開を通じて、人類共通の文化遺産を未来へ継承するとともに、地域社会ならびに国際社会への貢献を目指して活動しております。平成 14 年には博物館法による登録博物館となり、平成 29 年からは一般財団法人光ミュージアムとして運営を行っております。

ここに年報第 17 号を刊行し、令和 7 年度の事業についてご報告申し上げます。

特別展としては、当館所蔵の『富嶽三十六景』全 46 景を一堂に展示した「葛飾北斎 富嶽三十六景展」を開催いたしました。企画展としては、型絵染の人間国宝・芹沢銈介の生誕 130 年を記念した「人間国宝 芹沢銈介展 伝統×革新のデザイン＝型絵染」、ならびに在日ペルー大使館との連携のもと、アンデスの人々の姿を写真で紹介した「ANDINOS アンデスの人々：ペルー、クスコでの出会い」を行って参りました。いずれの展覧会も、国内外の多彩な芸術・文化を広く紹介するものとなりました。

6 月には、彬子女王殿下をお迎えし、特別講演会「英国で学ぶ日本文化」を開催いたしました。

殿下には英国留学でのご経験を踏まえ、日本文化の持つ価値とその魅力を国際的な視点からお話いただきました。文化を通じた相互理解の重要性や、日本文化を次代へ継承していく意義について示唆に富むご講演を賜り、来場者にとって誠に有意義な機会となりました。当館にとりましても、日本文化の発信と国際交流を考える上で大変意義深い催しとなりました。

教育普及活動としては、市内小・中学校の児童・生徒を対象に「出張美術館」を実施いたしました。浮世絵版画等の本物の美術作品を学校へ持ち込み、作品から感動や喜びを体験していただくこの事業は、地域の教育普及活動として定着しております。また、岐阜女子大学書道部との練成会も引き続き行っております。化石レプリカや版画体験等の体験学習も継続して実施し、多くの方にご参加いただきました。さらに、館内を巡りながら謎解きに挑戦する「謎解きプログラム」には、未就学児向けコースを設け幅広い年齢層にご参加いただきました。

また、大阪中之島美術館が開催した「生誕 150 年記念 上村松園展」に、当館所蔵の上村松園作品 5 点を貸し出すなど、他館との連携も着実に深めております。

光ミュージアムは今後も、美術・考古学・自然科学の各分野にわたる資料の保存・調査研究・展示公開を通じて、人類共通の文化遺産を未来へ継承するとともに、地域社会ならびに国際社会の文化発展に寄与する総合博物館として歩みを進めて参ります。

これまでご支援、ご協力を賜りました関係機関ならびに関係者各位に心より御礼申し上げますとともに、今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和 6 年 3 月 31 日

光ミュージアム

小林 秀明

テーマ「光」

地球環境との対話が叫ばれる今日、生命エネルギーの根源である「光」をテーマに博物館活動を行なう。「光」のテーマは広範囲である。太陽からの光、自然からの光、化石等過去の物質からの光、人工的な過去の文明からの光、また、芸術・美術、人の心からの光など。こうした人類に向けて放たれる光を多方面にわたり

- 1 資料収集・保管
- 2 調査研究
- 3 資料・収蔵品の紹介・展示
- 4 教育普及活動

することにより、人類・社会の精神的・物質的な向上を目指すものとする。来館者が、長い年月の中で地球や人類が育んできた歴史をたどり、自然と人類が残した優れた美・芸術・文化に触れることにより、今後の生き方、未来へ歩む方向性を見出せるような活動を展開して行く。

地域に貢献できる博物館活動

飛騨地域は、特有(古生代から新生代)の地層・地質・岩石・化石等を保有している。そこに住む人々の 歴史と伝統文化を紹介することにより、地域に融和した文化環境の向上を目指す。地元、飛騨地域(高山市を含む)を中心に、岐阜県及び中部地区に貢献できる社会教育施設として、博物館活動を展開して行く。

生涯教育に役立つ博物館

老若男女を問わず、児童・生徒から大人まで気軽にご来館いただける公共施設として、生涯教育に役立つ総合博物館として、特に、今後の未来を担う青少年の知育向上のための教育施設として、広く一般に利用していただくことを目的とする。

国際交流の推進

世界古代文明の遺物や優れた芸術品を展示・紹介することにより、国際交流の推進並びに地域社会の国際化にも貢献する。

そのため積極的に国際的な企画展を実施して行く。

展示概要

特別展「葛飾北斎 富嶽三十六景展」

開催期間

2025 年 2 月 27 日(木)～12 月 21 日(日)

作品点数

50 点 (作品リスト 35 ページ)

協力

一般財団法人 国際芸術財団

展示概要

2025 年は、葛飾北斎・喜多川歌麿・東洲斎写楽らを世に送り出した“江戸のメディア王・蔦屋重三郎”が主人公の NHK 大河ドラマ「べらぼう～蔦重栄華乃夢噺」が放送され、浮世絵がますます注目されている。

江戸後期の浮世絵師・葛飾北斎が 70 歳を過ぎてから手掛けた『富嶽三十六景』は、追加出版された 10 景を含む全 46 景から成る。

浮世絵は、19 世紀に起こったジャポニズムによって、ゴッホやドビュッシーなどの世界の芸術家にも大きな影響を与え、中でも新 1000 円札の裏面を飾る「神奈川沖浪裏」は、世界で最も有名な芸術作品の一つと言われている。

本展では、光ミュージアムのコレクションより『富嶽三十六景』全46景を一堂に展示し、合わせて「日蓮上人像」をはじめとする 肉筆画(手描きの1点もの)もご覧いただき、北斎芸術の魅力に浸っていただいた。



「富嶽三十六景 山下白雨」



「富嶽三十六景 五百らかん寺さざりどう」



「富嶽三十六景 江戸日本橋」



「富嶽三十六景 諸人登山」

展示の様子



企画展「ドキドキ！世界の土器くらべ」

開催期間

2025 年 6 月 5 日(木)～9 月 8 日(月)

作品点数

46 点（作品リスト 36 ページ）

協力

一般財団法人 国際芸術財団

展示概要

人類の歴史とともに進化を遂げてきた「土器」。単なる生活道具としてだけではなく、祈りや願いが込められた芸術作品でもある。そのかたちや模様は時代や地域によってさまざまに変化し、古代の人々の暮らしや信仰、美意識を今に伝えている。

本展では、日本の縄文土器をはじめ、メソポタミア、エジプト、ギリシャ、インダス、中国、マヤ、アンデスといった世界各地の土器を一堂に展示した。躍動感あふれる装飾が施された土器、神話や儀式の様子が描かれた土器、動物や人物をかたどった土器などを通して古代の人々の想いや文化に触れることで、世界各地の土器の魅力をお楽しみいただいた。



彩陶双耳壺 中国



彩文土器 インダス



家屋鎧形壺 アンデス



人物文様円筒土器
メソアメリカ

展示の様子



企画展「人間国宝 芹沢銈介展 伝統×革新のデザイン＝型絵染」

開催期間

2025 年 9 月 13 日(土)～12 月 21 日(日)

作品点数

42 点 (作品リスト 37 ページ)

協力

一般財団法人 国際芸術財団

特別協賛

株式会社大林組 株式会社竹中工務店

協賛

株式会社アクアテック 株式会社エルズ・ジャパン
坂本土木株式会社 株式会社トーエネック高山営業所
有限会社堂前園芸 株式会社堀口工務店
(順不同)

展示概要

芹沢銈介生誕 130 年を記念し、企画展「人間国宝 芹沢銈介展 伝統×革新のデザイン＝型絵染」を開催した。芹沢銈介(1895～1984 年)は、「型染(かたぞめ)」の技法を用いた独創的な作品を生み出し、重要無形文化財「型絵染」の保持者(人間国宝)に認定された染色家である。静岡市に生まれ



「型染どんきほうて作男さんちよ従へ廻国の門出」

た芹沢は、東京高等工業学校(現在の東京科学大学)を卒業後、日本の民芸運動を起こした思想家・柳宗悦が進めた民藝運動に出会い、これに共鳴。そして、沖縄の染物・紅型に触発されて型染めを発展させた独自の技法を確立した。それによって、1956年に人間国宝に認定される。芹沢の作品は力強い図柄と鮮やかな色彩が特徴で、のれんや屏風、着物など多彩な作品を制作した。1976年にはフランス・パリで大規模な展覧会が開催され、文化功労者にも選ばれるなど、国内外で高い評価を受けた。世界が認めた人間国宝・芹沢銈介の魅力をお楽しみいただいた。



「光の字文のれん」



「津村小庵文帯」

展示の様子



企画展「アンデスの人々」ペルー、クスコでの出会い

開催期間

2025年11月6日(木)～11月30日(日)

主催

在日ペルー大使館

協力

一般財団法人 国際芸術財団

展示概要

在日ペルー大使館主催による写真展「ANDINOS アンデスの人々：ペルー、クスコでの出会い」を開催した。本展は、ペルー人写真家のガブリエル・バレット・ベンティン氏がクスコや聖なる谷を訪れ、白の背景布をバックに現地の人々を撮影したポートレートを展示した。雄大な風景を背景にした「理想化された先住民像」とは異なり、仕事や行事など、場面に応じた装いを通して、アンデス社会の多様性が表現されており、高山市と所縁のあるペルー共和国のアンデスの人々の素の顔に触れる機会としてお楽しみいただいた。



追悼展示「長嶋茂雄さん追悼特別展示」

開催期間

2025年6月8日(日)～10月13日(月)

作品点数

5 点（作品リスト 37 ページ）

協力

アニメ脚本家 小山高生氏

展示概要

「ミスタープロ野球」の名で日本中に愛された長嶋茂雄さんが、6 月 3 日逝去された。ご冥福をお祈り申し上げますとともに、長嶋茂雄さんを偲びつつ、小山高生コレクションより展示をおこなった。



右卿記念室

「2025 コレクション前期」

開催期間

2025 年 2 月 27 日(木)～8 月 4 日(月)

作品点数

27 点（作品リスト 38 ページ）

「2025 コレクション後期」

開催期間

2025 年 8 月 7 日(木)～12 月 21 日(日)

作品点数

27 点（作品リスト 38 ページ）

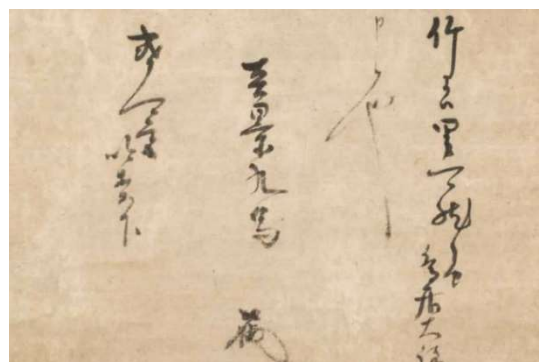
常設展「2025 書コレクションⅠ」

開催期間

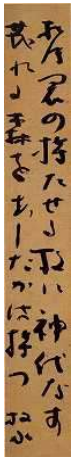
2025 年 2 月 27 日(木)～7 月 28 日(月)

作品点数

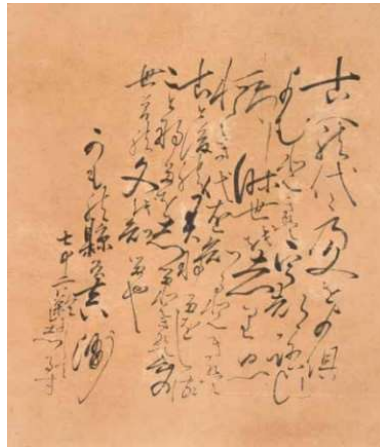
30 点（作品リスト 39 ページ）



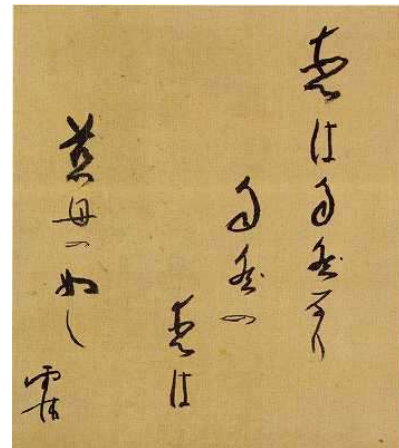
後陽成天皇「宸翰御消息」



若山牧水「おほ君の…」



賀茂真淵「古への代々の文を…」



野口雨情「詩」

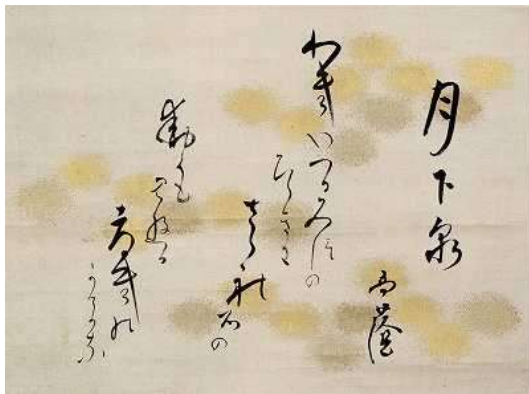
常設展「2025 書コレクションⅡ」

開催期間

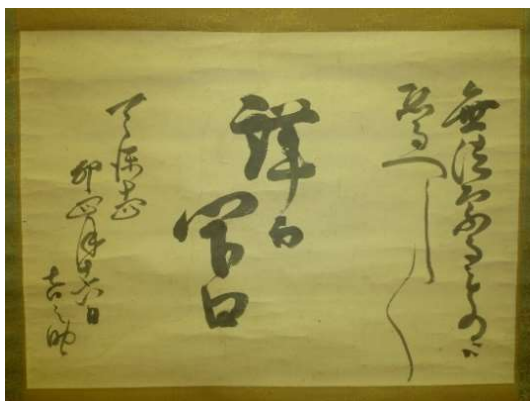
2025年7月31日(木)～12月21日(日)

作品点数

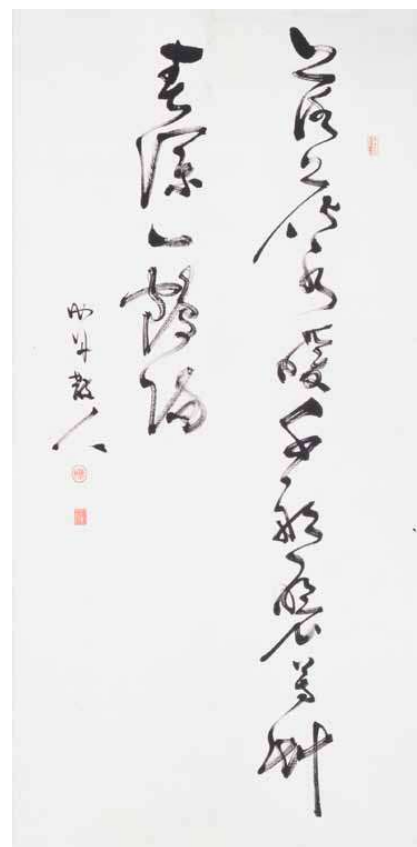
30点（作品リスト 39 ページ）



岡山高蔭「四季の歌(秋)…」



西郷隆盛「壮年の書」



勝海舟「漢詩」

1. 展示目的

現代の人類社会を支える自然が現在の姿になるまで、人類を含む全ての生命が果たしてきた役割と環境の変化を紹介する。

いつの時代においても1つ1つの生命には役割があり、一切無駄無く配置されている。生命と環境の長い歴史と積み重ねを知ることにより、自然をかけがえのないものとして再認識し、慈しむ心を育てる。

2. 展示内容

飛騨は古生代の福地層、中生代の手取層群、新生代の火砕流推積層等各年代の地層や岩石が露出していることで有名である。

飛騨の実物資料を通して、地球の自然界における普遍真理を捉え、一切無駄無く培われた生命の役割と命の尊さ、環境との関わり等を紹介している。

展示は飛騨産出の化石・岩石に考古資料を加え、古生代から現代までの飛騨の歴史と生命の関わりを提示している。地球環境を形成してきた命の大切さをどの年代層へも伝えられるよう、復元模型やジオラマに力を入れた。特に植物ジオラマは、葉脈に至るまで化石を元に忠実に復元している。

〈輝く生命の星〉

導入部には宇宙から見た地球を表現した模型を設置し、宇宙飛行士が見た地球の美しさと思議さを疑似体験する試みを行っている。

※展示手法

○地球模型

○100 インチモニター映像

○実物資料：隕石

〈古生代〉

飛騨にある古生代の地層からは、サンゴをはじめとする海の生き物の化石が数多く発見されている。

これらの原始生物は何億年もかけて、生命の星とよばれる地球環境をつくったといわれている。これらを垣間見ると、それぞれが理想的な共生関係を保って繁栄を遂げたことが理解



できる。このゾーンでは飛騨産出の化石を時代毎に展示するとともに、示相化石・示準化石や地層累重の法則などの基礎的な内容を学べるよう展示をしている。

※展示手法

- 実物資料…海生動物化石・岩石
- 岩盤模型…実物資料を用いて福地層デボン紀の露頭を再現した
- ジオラマ…「シルル紀」「デボン紀」「石炭紀」「ペルム紀」の海の様子を復元した
- ミラービジョン…映像

〈中生代〉

飛騨地域にまたがる中生代の地層「手取層群」は恐竜や植物化石を多く産出することで知られている。海から陸、湖、川、空へと生活環境を広げ、動物と植物が共生しながら繁栄を遂げ、中生代の生活環境をつくったことを伝える。

※展示手法

- 実物資料…陸上植物化石・海生動物化石等
- ジオラマ…手取型植物群を原寸大で葉脈に至るまで、精巧に復元した
- 恐竜模型…手取層群から発見されたスギヤマリュウ・カガリュウの原寸大復元模型



カガリュウ 原寸大復元模型

〈新生代〉

飛騨地方では新生代のはじめから約 300 万年前までの間の地質現象を示す地層や化石が発見されていない。飛騨の山々は、それ以降にはじまった火山活動とプレート運動によって形成されたと考えられる。大地に残された痕跡から激しい変動の様子を伝える。

また、新生代は哺乳類が繁栄したことで特徴づけられ、その中には人類も含まれる。他の生物と違い、人類は道具を生み出し用いることで自然環境に適応してきた。用途ごとに適した素材を選び分け、活用してきた人類と自然環境との関わりを、素材を通して紹介する。

※展示手法

- 実物資料…岩石、石器、土器
- 映像模型…噴火と再生の様子を紹介

〈学習コーナー〉

展示を振り返り、楽しみながら復習をする場とする。

※学習手法

- 体験学習室・多目的スペース ……………ワークショップの実施
 - 恐竜の歯を展示
 - 学習映像の放映

監修・協力

全体監修：(故)猪郷久義(筑波大学名誉教授)

真鍋真(国立科学博物館副館長) 下畑五男(元岐阜県博物館館長)

久保貴志、三宅幸雄(敬称略)

展示資料数

古生代：化石 66 点 岩石 6 点

中生代：化石 27 点

新生代：岩石 12 点 その他 59 点



珪質岩(一重ヶ根層) 奥飛騨温泉郷岩坪谷
古生代



フクジセラス 奥飛騨温泉郷福地 古生代



ベレムナイト 高山市荘川町 中生代



アンモナイト 高山市荘川町 中生代

■企画展 隕石コレクション展

開催期間

令和5年2月27日(月)～

展示点数

17点

展示概要

太陽や地球から微惑星に至るまでの太陽系は、宇宙を漂うガスや塵からほぼ同時期に形成されたと考えられている。中でも「メインベルト」(火星と木星それぞれの軌道間にある小惑星帯)を構成する天体の多くは、太陽系の形成過程で惑星にまで成長することがなかった未成熟の天体であり、太陽系初期の状態や、惑星の形成過程を残したものであるとされている。隕石の大多数は、このメインベルトの天体やその破片が起源であると考えられることから、これらの隕石を調べることによって、太陽系がいつ生まれ、どのように進化してきたのかが分かってきた。

本展示では、当館の隕石コレクションから、「アエンデ隕石」をはじめとする17点を選定し、「始原的な隕石」と、「分化した隕石」に分けて展示するとともに、「発見」/「落下」の別や、鉱物種の割合や化学組成などの成り立ちを表す分類についての情報も提供している。

また、特定の「球粒隕石」において容易に見ることができる「コンドリュール」(球粒)や、鉄隕石の多くにみられる「ウイドマンシュテッテン構造」など、隕石の特徴についても観察することができる。

更に「月」や「火星」に起源をもつ珍しい隕石や、地上に巨大なクレーターを残した「キャニオン・ディアブロ隕石」のコーナーも設け、小さなスペースながら、まとまった展示になるよう工夫をおこなった。

展示の様子



1. 展示目的

展示は、人類が共通して持つ普遍の心、『崇める心』をテーマにした。

古来より人類は自然を畏れ尊び、人間の知恵と力の及ばないところに神の世界があると考え、崇める心を培ってきた。豊かな文化や現代にまで残る遺産といった古代文明の所産は「崇める心」の象徴であり、現代文明においても人々の心のよりどころとなっている。また、先人の努力があって我々も今日の生活を営めるのであり、何千年も前から現代にまで通じる文化の共通性・独自性を知ることは、今後の文化・文明を考える上でも重要である。

ダイナミックな造形を生んだ世界各地の文化遺産の展示を通して、21 世紀を生きる現代人の視野を広げ、文明を育む原動力となった人類の心を問う場を提供している。

2. 展示内容

人類史展示室では、世界各地の考古資料を各文明・文化ごとにまとめた展示を行っている。旧石器時代から世界の 7 つの文明と日本の縄文時代について、その全体像と精神性を実物資料、模型、解説パネル、映像、ミラービジョン等によって紹介している。

『崇める心』をテーマに人類の心を探り、その帰結としての諸文明を提示している。

〈旧石器時代〉

約 400 万年以上前から世界各地に広がった人類は、厳しい自然環境に適応しつつ豊かな文化を育んでいった。

火の使用、石器の加工技術、豊穡や秩序を祈る洞窟壁画等を通して、旧石器時代の人々の『崇める心』を中心に紹介している。

※展示手法

○実物資料…旧石器。

○縮小模型…旧石器時代の洞窟壁画。



旧石器時代の洞窟壁画 ミニチュア複製

〈世界の古代文明〉

約 1 万年前頃から、世界各地に文明・文化が興っていった。古代文明展示の導入として大型の地図・年表を配置し、7 つの文明と日本の縄文時代の地理的・時代的な位置関係を一望できるよう工夫した。各文明に見られる環境や遺跡・遺物を一堂に見ることで、それぞれの相違点や普遍性を垣間見ることができる。

※展示手法

○世界地図にモニターや展示ケースを配置し、各文明の気候風土・代表的な遺跡・遺物を映像や資料で一望できるようにしている。

〈古代文明〉

紀元前 3000 年頃より栄えた世界的にもよく知られる 7 つの文明を、コーナーごとに分けて展示している。

世界各地の古代文明を社会のあり方や建築、実物資料の造形や紋様等、多方面から見つめ、比較することで、それぞれの文明を支えた人々の宗教観・死生観を探り、人類の未来を模索できるようにしている。

展示コーナー

- ①メソポタミア文明
- ②ギリシア・地中海文明
- ③エジプト文明
- ④メソアメリカ文明
- ⑤中国文明
- ⑥インダス・インド文明
- ⑦アンデス文明

※展示手法

○実物資料…保存状態の良好な副葬品の展示。特に中・南米は当時の人々の精神性を伝える土器や、布製品等の一級資料で充実している。

○グラフィック…大型写真パネル、地図・年表、解説文を全文明統一した手法で配置している。

○模型資料…当時の人々の精神性を伝える神殿縮小模型(ウルのジグラット・パルテノン神殿・ティカル神殿)、三内丸山遺跡の復元模型、巨木柱等を設置している。また、アンデス文明『太陽の門』の精巧な原寸大の模型は、現地の天野博物館にご協力いただいた資料を元に作成したものである。



「太陽の門」実物大複製

〈縄文〉

縄文時代は近年の発掘・調査・研究により、その生活水準の豊かさが見直され、現在でも新たな発見が相次いでいる。

自然と共に生き、1 万年以上もの間続いた縄文時代の全体像を提示し、同時期に栄えた世界の文明と共に展示している。

※展示手法

○実物資料…土偶、土器、石製品。

○レプリカ…木製品、土器。

○ミラービジョン…三内丸山遺跡の 5500 年前と発掘時の様子を縮小模型で重ねてみせる。盛土模型、巨木柱模型、縄文時代の紹介映像

〈学習コーナー〉

展示を振り返り、楽しみながら復習する場とする。

※学習手法

○スタンプラリー…展示室内にスタンプを設置し、各文明の建物や器・土偶などのスタンプを押せるようにしている。

展示資料（作品リスト 40 ページ）



少年頭部像
ギリシャ・地中海



土偶
日本



楔形文字入り土版
メソポタミア



ピューマ・蛇文様太鼓
アンデス

常設展「2025 日本画コレクションⅠ」

開催期間

2025 年 2 月 27 日(木)～6 月 2 日(月)

作品点数

25 点（作品リスト 42 ページ）



上村松園「わか葉頃」



菱田春草「渡舟図」



川合玉堂「蓬莱群鶴」



横山大観「怒涛」

常設展「2025 日本画コレクション 屏風に描かれた日本」

開催期間

2025 年 2 月 27 日(木)～6 月 2 日(月)

作品点数

5 点 (作品リスト 42 ページ)



作者不詳「農耕十二ヶ月の図」

常設展「2025 日本画コレクションⅡ」

開催期間

2025 年 6 月 5 日(木)～9 月 8 日(月)

作品点数

16 点 (作品リスト 43 ページ)



横山大観「美穂之不二山」



下村観山「武陵桃源」

常設展「2025 日本画コレクションⅢ」

開催期間

2025 年 9 月 11 日(木)～12 月 21 日(日)

作品点数

18 点 (作品リスト 43 ページ)



橋本雅邦「秋趣」



狩野永岳「十二客花双福」

常設展「2025 コレクション」

開催期間

2025 年 2 月 27 日(木)～12 月 21 日(日)

作品点数

48 点 (作品リスト 43 ページ)



「一葉葵紋主水正正清」



「木造聖観音菩薩立像」

常設展「2025 西洋画コレクション」

開催期間

2025 年 2 月 27 日(木)～12 月 21 日(日)

作品点数

17 点 (作品リスト 44 ページ)



カミーユ・ピサロ「リンゴの収穫」



フィンセント・ファン・ゴッホ「洗濯をする農婦」



ジャン＝バティスト＝カミーユ・コロー「岸辺の小舟(ヴィル・ダブレー)」

彬子女王殿下 特別講演会「英国で学ぶ日本文化」

開催日

2025年6月18日(水) 11:00~12:00

会場

光ミュージアム 小ホール

主催

光ミュージアム

共催

一般財団法人 高山市文化協会

後援

高山市、飛騨高山国際協会



彬子女王殿下をお迎えし、特別講演会「英国で学ぶ日本文化」を当館小ホールにおいて開催した。本講演会は、当館主催、一般財団法人高山市文化協会との共催により実施し、高山市および飛騨高山国際協会の後援を得て開催された。講演では、英国留学でのご経験をもとに、日本文化の魅力や国際的な視点についてお話いただき、来場者にとって大変有意義な機会となった。

講演会の様子



イベント企画

■ナイトミュージアム

開催日

2025年7月12日(土) 17:00～21:00

市民無料開放日に合わせ、外装のライトアップやピラミッドホールでの箏曲演奏家コンサート等、ナイトミュージアム限定のイベントを開催した。

普段と趣異なる夜の美術館を多くの方にお楽しみいただいた。



教育普及

一般向け活動

実施にあたって

美術館・博物館が行う教育は、展示のほかに講演・講座をはじめとする多様な形態の学習支援活動がある。さらに、興味・関心を引き出す手法を開発したりアミューズメント性を高めることで、幼児から高齢者まで誰もが気軽に自発的に学習したり、知を愉しむことのできる場となる。当館のレプリカ作り、ストラップ作りや謎解き等は、楽しく学び、美術館・博物館に親しみを感じて頂く事を目的とする。

音声ガイド

期 間 令和7年4月1日～12月21日

利 用 料 500/1台

対応言語 日本語・英語

内 容 特別展「葛飾北斎 富嶽三十六景展」
日本画、西洋絵画、人類史展示資料
飛騨展示室資料の解説

当館職員が独自で設計・製作した音声ガイド端末を来館者に貸出し、展示品の解説を音声で聞くことができるサービスを提供した。



■レプリカストラップづくり！

日 時 令和 7 年 3 月～12 月
(土日祝日、GW、お盆期間、SW)
場 所 飛騨展示室体験学習コーナー
対 象 4 歳以上
参加者 515 名
参加費 300 円



内容

アンモナイト、三葉虫、巻貝の化石から取った型の中からいずれかを選び、2色の樹脂を入れてガラスの装飾をし、レプリカを作る体験学習。

状況

リピーターと旅行者の参加者が多かった。「家族そろって楽しく作ることができたので、旅のよい記念になりました」「友達のお土産に作れたので良かった」などの声を頂いた。

■レプリカストラップづくり！「アルバートサウルスの歯」

日 時 令和 7 年 7 月 19 日～8 月 31 日
(土曜日、日曜日、祝日、お盆期間)
場 所 飛騨展示室
対 象 4 歳以上
参加者 48 名
参加費 400 円



内容

恐竜の歯の型にお湯で柔らかくした黒色の樹脂を入れて固めレプリカを作る体験学習。学名の札とストラップを付けて完成。

状況

アルバートサウルスの知名度が高くないこともあり、本当に恐竜が好きな子どもたちが参加していた。紹介の仕方に言葉を選ぶ必要があると感じた。

■ビーズ付きまがたまストラップを作ろう！！

日 時 令和 7 年 3 月～12月

(土日祝日、GW、お盆期間)

場 所 飛驒展示室体験学習コーナー

対 象 小学1年生以上

参加者 371 名

参加費 300 円



内容

カラフルなオープン粘土で作った勾玉に紐を通し、ビーズ をトッピングしてストラップを作る体験学習。

状況

参加者が粘土やビーズを選びながら作成していく中で笑顔も見られ、楽しみながら活動に参加する様子がうかがえた。

■三色摺り版画体験

日 時 令和 7 年 3 月～12月

(日祝日、GW、お盆期間)

場 所 飛驒展示室体験学習コーナー

対 象 小学1年生以上

参加者 189 名

参加費 300 円



内容

絵師・彫師・摺師の共同作業でできあがる浮世絵版画。版木に絵の具をぬり、和紙をのせてバレンでこする摺りの体験。

状況

「葛飾北斎 富嶽三十六景展」に合わせ、年間を通して「神奈川沖浪裏」の版画体験を行った。他の体験に比べ、外国人の参加割合が多かった。



謎解き

場 所 館内

対 象 5 歳以上

参加者 1,253 名

参加費 200～800 円

内容

館内をまわりながら出題された謎を解き、ゴールを目指す。出題の内容は展示に絡めた内容であり、ゲームに参加しながら学習を行うことができる。(レベルは1～5 までの 5 種類から選択できるようにした)未就学児向けコースを設け幅広い年齢層にご参加いただいた。



外部連携活動

■出張美術館

持参作品

〔小学校〕

『東海道五十三次』…………… 歌川広重

日本橋・朝之景

三島・朝霧

岡部・宇津之山

袋井・出茶屋ノ図

石薬師・石薬師寺

石部・目川ノ里

〔中学校〕

『ほととぎすと遊女』…………… 駿斎連馬

『名所江戸百景』 …………… 歌川広重

深川木場

砂むら元八まん

両国花火

堀切の花菖蒲

吾妻橋金龍山遠望

深川萬年橋

実施校一覧

No.	学校名	日程	人数
1	東山中学校	10月2日(木)	82
2	清見中学校	10月10日(金)	19
3	丹生川中学校	10月21日(火)	33
4	朝日小学校	10月23日(木)	8
5	久々野中学校	11月13日(木)	32
6	国府小学校	11月14日(金)	48
7	栃尾小学校	11月19日(水)	11
8	久々野小学校	11月20日(木)	23
9	松倉中学校	11月21日(金)	126
10	三枝小学校	11月25日(火)	17
11	本郷小学校	11月26日(水)	15
12	花里小学校	11月27日(木)	49
13	南小学校	11月28日(金)	63
14	江名子小学校	12月1日(月)	43
15	宮中学校	12月3日(水)	38
16	荘川さくら学園	12月8日(月)	26
17	中山中学校	12月9日(火)	155
18	清見小学校	12月10日(水)	15
19	宮小学校	12月11日(木)	27
20	東小学校	12月12日(金)	73
21	新宮小学校	12月15日(月)	65
22	山王小学校	12月17日(水)	60
23	西小学校	12月18日(木)	19
24	北小学校	12月19日(金)	125
25	丹生川小学校	12月23日(火)	40

学校数 25 校

受講人数 1,212 名

■学校連携活動

○岐阜女子大学 書道部練成会

会期:令和7年9月2日(火)~9月4日(木)

参加人数:47名(生徒41名・教員6名)

内容:

岐阜女子大学書道部に練成会会場を提供。学生はミュージアムの見学と作品制作を行った。また、練成会后、学生が制作した作品30点を1階ホールに展示した。



○日本大学 科学教室

日本大学理工学部の方に協力いただき、市内小中学生を対象として、自然科学や文化芸術への理解を深めることを目的に体験型の科学教室・講座を開催した。

「地層を学ぶ&ミニ地層作り」

日時:7月31日(木)

内容:地層について学習した後、ミニ地層作り体験を行った。

参加人数:12名



「うす墨の書に学ぶペーパークロマトグラフィー」

日時:8月1日(金)

内容:書に使用される墨を題材として、ペーパークロマトグラフィー実験を行った。

参加人数:2名



「水の重要性を学ぶ&ハーバリウム作り」

日時:8月16日(土)

内容：水や植物について学びながら、ハーバリウム作り体験を行った。

参加人数：3名

「尺八体験とウィンドチャイム作り」

日時：8月19日(火)

内容：尺八演奏の鑑賞および演奏体験を行い、あわせてウィンドチャイム作りを通して音の仕組みについて学ぶ機会を提供した。

参加人数：7名

合計参加人数：24名



○中学校職場体験

日枝中学校 日時：9月18日(木)、19日(金) 1名

中山中学校 日時：9月25日(木)、26日(金) 2名

宮中学校 日時：11月27日(木)、28日(金) 1名

内容：中学校の職場体験の一環として中学生5名が博物館の役割や資料の取り扱い、展示作業、体験学習の準備・案内、展示解説など、学芸員の仕事を体験した。



その他連携活動

○飛騨高山地域お仕事発見隊

日時：7月26日(土)、7月27日(日)

内容：高山市内在住の小中学生を対象とした地元企業の「お仕事体験」プロジェクトに参加し、当館の業務や博物館活動について学ぶ機会を提供した。各日2名、計4名が参加した。



○高山市文化協会事業「子ども夢創造事業」

日時:8月21日(木)、22日(金)

参加人数

8月21日(木) 17名

8月22日(金) 14名 計31名

目的：文化芸術を身近に感じる機会を子どもの頃から充実させることで、豊かな感性や創造力を育むことを目的として実施した。

内容：「世界の土器でアートしちゃおう！」と題し、当館所蔵の世界各地の土器類を展示した企画展「ドキドキ！世界の土器くらべ」を見学し、文様やデザインについて学んだ後、シルクスクリーン摺りを用いてトートバッグに土器文様をプリントする体験を行った。



資料貸出

「生誕 150 年記念 上村松園展」

大阪中之島美術館 2025/3/29～6/1

No.	資料名	作者名	制作年月日
1	初音図	上村松園	大正末期
2	夏の夜図	上村松園	明治 35 年頃
3	美人之図	上村松園	昭和 12 年
4	三美人之図	上村松園	明治 41 年
5	四季美人図	上村松園	明治 25 年

施設概要

■利用案内

開館日数

令和 7 年 開館日数 228 日

休館日

毎週火・水曜日(祝日の場合開館)、冬期間(12 月下旬～2 月下旬頃)

開館時間

午前 10 時～午後 5 時(入館は午後 4 時まで)

入館料金

入館料金	当日券	団体券	障がい者
一般	1,000	900	300
小中学生	300	200	100

年間パスポート料金

パスポート料金	新規	2 年目以降継続
大人	2,200	2,000
70 歳以上・高・大学生	2,000	1,800
小・中学生／障がい者	800	600

駐車場

300 台(料金無料)

交通案内

- JR 高山駅下車…タクシーで約 9 分
徒歩で約 35 分(約 3 km)
- 無料シャトルバス(土・日・祝日 運行)
JR 高山駅西口より乗車(約 10 分)
- 自家用車ご利用の場合
東海北陸道経由、中部縦貫道【高山 IC】から約 3 分
北陸自動車道 富山 IC】から R41 で約 2 時間
長野自動車道 【松本 IC】から R158 で約 2 時間

■フロアガイド



-    お手洗い
-   ベビーシート
-  授乳室(女性専用)
-  無料貸出用 車いす
-  無料貸出用ベビーカー
-  エレベーター
-  エスカレーター(上り)
-  エスカレーター(下り)
-  総合案内
-  チケット売り場
-  傘立て
-  コインロッカー
-  給水コーナー
-  飲水エリア
このエリアのみ、水・お茶をお飲みいただけます

建築概要

所在地	岐阜県高山市中山町 175
地区・地域	第 2 種住居地域 教育文化地区
工期	着工:平成 5 年 6 月 23 日 竣工:平成 10 年 2 月 27 日 開館:平成 11 年 4 月 8 日
敷地面積	75,753.75m ² (22,915 坪)
建築面積	14,097.00m ² (4,264 坪)
建ぺい率	19.78%≦48.17%(地区計画)
延床面積	32,668.81m ² (9,882 坪)
容積率	45.84%≦76.34%(地区計画)

施設の規模

駐車台数	来館者用	乗用者 105 台 バス 27 台
	職員用	乗用車 66 台

見学ゾーン面積

1 階	3,750.62m ² (1,135 坪)
地下 1 階	2,812.12m ² (851 坪)
地下 2 階	7,013.97m ² (2,122 坪)
合 計	13,576.71m ² (4,107 坪)

能舞台	1 舞台
小ホール	108 席
収蔵庫面積	1,534.62m ² (464 坪)
図書室	30 席
レストラン「ビラコチャ」	108 席
和風レストラン「日玉の里」	82 席(団体予約専用)
立礼席	32 席
美術館棟の外形	101m×86m
外部ピラミッドの高さ	20.7m(中央床面より)
内部ピラミッドホールの天井高	21.7m(地下 2 階フロアより)
可変床面積	1,353m ² (409 坪)

付録 作品リスト

特別展「葛飾北斎 富嶽三十六景展」

No.	作品	年代	備考
1	凱風快晴	江戸後期(天保2年頃)	
2	神奈川沖浪裏	江戸後期(天保2年頃)	
3	山下白雨	江戸後期(天保2年頃)	
4	深川万年橋下	江戸後期(天保2~4年頃)	
5	東都駿台	江戸後期(天保2~4年頃)	
6	青山門座松	江戸後期(天保2~4年頃)	
7	武州千住	江戸後期(天保2~4年頃)	
8	武州玉川	江戸後期(天保2~4年頃)	
9	甲州犬目峠	江戸後期(天保2~4年頃)	
10	尾州不二見原	江戸後期(天保2年頃)	
11	東都浅草本願寺	江戸後期(天保2~4年頃)	
12	相州七里浜	江戸後期(天保2~4年頃)	
13	武陽佃島	江戸後期(天保2~4年頃)	
14	常州牛堀	江戸後期(天保2~4年頃)	
15	相州梅沢左	江戸後期(天保2~4年頃)	
16	甲州石班沢	江戸後期(天保2年頃)	
17	甲州三島越	江戸後期(天保2~4年頃)	
18	信州諏訪湖	江戸後期(天保2~4年頃)	
19	駿州江尻	江戸後期(天保2~4年頃)	
20	遠江山中	江戸後期(天保2~4年頃)	
21	江都駿河町三井見世略図	江戸後期(天保2~4年頃)	
22	御厩川岸より両国橋夕陽見	江戸後期(天保2~4年頃)	
23	五百らかん寺さゞるどう	江戸後期(天保2~4年頃)	
24	礪川雪ノ旦	江戸後期(天保2~4年頃)	
25	下目黒	江戸後期(天保2~4年頃)	
26	隠田の水車	江戸後期(天保2~4年頃)	
27	相州江の島	江戸後期(天保2~4年頃)	
28	東海道江尻田子の浦略図	江戸後期(天保2~4年頃)	
29	東海道吉田	江戸後期(天保2~4年頃)	
30	上総ノ海路	江戸後期(天保2~4年頃)	
31	江戸日本橋	江戸後期(天保2~4年頃)	
32	隅田川関屋の里	江戸後期(天保2~4年頃)	
33	登戸浦	江戸後期(天保2~4年頃)	
34	相州箱根湖水	江戸後期(天保2~4年頃)	
35	甲州三坂水面	江戸後期(天保2~4年頃)	
36	東海道の程ヶ谷	江戸後期(天保2~4年頃)	
37	本所立川	江戸後期(天保2~4年頃)	
38	従千住花街眺望ノ不二	江戸後期(天保2~4年頃)	
39	東海道品川御殿山ノ不二	江戸後期(天保2~4年頃)	
40	相州仲原	江戸後期(天保2~4年頃)	
41	甲州伊沢暁	江戸後期(天保2~4年頃)	
42	身延川裏不二	江戸後期(天保2~4年頃)	
43	駿州大野新田	江戸後期(天保2~4年頃)	
44	駿州片倉茶園ノ不二	江戸後期(天保2~4年頃)	
45	東海道金谷ノ不二	江戸後期(天保2~4年頃)	
46	諸人登山	江戸後期(天保2~4年頃)	
47	日蓮	江戸後期(文化8~文政3年)	
48	日・龍・月	江戸後期(寛政12~文化5年)	
49	遠眼鏡を持つ美人	江戸後期 (文政3年~天保4年)	前期のみ展示 (2/27-7/28)
50	豫譲	江戸後期(弘化3年)	後期のみ展示 (7/31-12/21)

企画展「ドキドキ！世界の土器くらべ」

No.	展示名	地域(詳細)	時代・文化期
1	馬高式土器	日本	縄文中期
2	阿玉台式土器	関東地方	縄文中期
3	勝坂2式土器	日本	縄文中期前半
4	大木式土器	日本	縄文中期後半
5	加曽利 E 式土器	日本	縄文中期後半
6	加曽利 E 式土器	日本	縄文中期後半
7	称名寺土器	日本	縄文後期前半
8	彩陶双耳壺	中国 馬鹿窯	長江・黄河文明 馬鹿窯文化
9	蛙文様彩陶双耳壺	中国	馬家窯(甘肅仰光文化)
10	布目文様灰陶壺	中国	周 戦国時代
11	龍神文様灰陶壺	中国	前漢時代
12	長頸壺	韓国	新羅
13	市松文様コップ形土器	パキスタン パローチスタン丘陵 メヘルガル	インダス文明
14	三人面付き骨壺	インダス川上流	ガンダーラ文化
15	動物・幾何学文様壺	インダス谷	ハラッパー文化
16	彩文土器		
17	幾何学文様土器	タイ	バンチェン文化第Ⅲ相
18	彩文土器	エジプト	先王朝時代
19	渦巻き文様双耳壺	エジプト	先王朝時代
20	ブラックトップ壺	エジプト	先王朝時代 ナカーダⅠ～Ⅱ期
21	筒形彩文土器	エジプト	ナカダⅢ期
22	動物文様壺	ナイジェリア北部	18世紀～19世紀
23	把手付き注口壺	イラン・ギラン	
24	幾何学文様壺	アナトリア	青銅器時代
25	動物飾り付き三足壺	イラン・ギラン	
26	嘴形注口付壺	アゼルバイジャン	紀元前 1000 年紀
27	皿形ランプ	シリア	
28	アンフォラ	北イタリア	エトルリア文化
29	幾何学文様オイノコエ	キプロス島	鉄器時代～幾何学文時代Ⅲ期
30	黒絵式渦巻型クラテル	ギリシア	
31	赤絵式オイノコエ	南イタリア アプリア	紀元前 4 世紀
32	鶏図アリュバロス	イタリア	
33	土製ランプ		
34	G1 神面付き鉢	マヤ中部低地グアテマラ・ペテン州	マヤ古典期前期
35	人面円筒土器	グアテマラ、ペテン州、中央低地	マヤ古典期前期
36	人物文様円筒土器	グアテマラ、ペテン州、中央低地	マヤ古典期後期
37	神官文様双耳壺	グアテマラ、南部	マヤ古典期後期
38	神像儀式用壺		マヤ古典期
39	男性形土器	エクアドル太平洋沿岸	ハマ・コアケ文化、地方発展期
40	三足壺	コスタリカ太平洋斜面	Ⅳ期後期
41	ワニ文様高杯	パナマ	
42	家屋鑑形壺	ペルー北部海岸	モチエ文化
43	戦士文様鑑形壺	ペルー北部海岸	モチエ文化
44	人物座像壺	ボリビア、チチカカ湖	ティワナク文化
45	幾何学文様把手付きケーロ	ボリビア、チチカカ湖	ティワナク文化
46	パカ工鑑形壺	ペルー北部海岸	チムー文化

企画展「生誕 130 年記念 人間国宝 芹沢銈介展」伝統×革新のデザイン＝型絵染

No.	資料名	制作年月日
1	津村小庵紺地着物	昭和 42 年
2	津村小庵文帯	昭和 42 年
3	小川紙漉村絵図	昭和
4	紙すき	昭和
5	風の字のれん	昭和 32 年
6	喜の字のれん	昭和 45 年
7	天の字のれん	昭和 40 年
8	いろは歌	昭和 33 年
9	梵字	昭和
10	春夏秋冬	昭和 40 年
11	飛の字のれん	昭和 43 年
12	光の字文のれん	昭和
13	いろは文朱地着物	昭和 33 年
14	多色いろは文帯	昭和 33 年
15	松竹梅絵図	昭和
16	落葉文着物	昭和 28 年
17	葉草文黄地帯	昭和 25 年
18	みの・ケラ屏風	昭和 32 年
19	雛絵図	昭和
20	小模様散らし文着物	昭和 13 年
21	モザイク文白地帯	昭和 43 年
22	縄のれん文のれん	昭和 30 年
23	打てや双手を絵文のれん	昭和 50 年
24	打てや双手を文字文のれん	昭和
25	起居万福文字文のれん	昭和
26	機織文のれん	昭和 30 年
27	手付壺文のれん	昭和
28	笹文のれん	昭和 48 年
29	赤富士のれん	昭和 42 年
30	極楽から来た	昭和
31	型染どんきほうて 作男さんちよ從へ廻国の門出	昭和 50 年
32	型染どんきほうて 世に名も高き初の手合はせ	昭和 50 年
33	型染どんきほうて はかられて山を出る	昭和 50 年
34	型染どんきほうて 飯もりの戸迷ひ騒ぎの因	昭和 50 年
35	型染どんきほうて さんちよの苦計草刈女を姫と強辨	昭和 50 年
36	型染どんきほうて 灰となる数々の武勇伝	昭和 50 年
37	型染どんきほうて 再挙の企み薬師の思案	昭和 50 年
38	型染どんきほうて 恐れを知らぬどんきほうて	昭和 50 年
39	型染どんきほうて 洞穴に入りて不思議を見る	昭和 50 年
40	型染どんきほうて 弱きをたすけ悪をこらす	昭和 50 年
41	型染どんきほうて 貴人と見えて客となる	昭和 50 年
42	型染どんきほうて 流れに浮ぶ魔の小舟	昭和 50 年

追悼展示「長嶋茂雄さん追悼特別展示」

No.	品名
1	長嶋茂雄 サイン入りユニフォーム
2	長嶋茂雄 サインバット
3	長嶋茂雄 サイン入り写真(バッターボックス)
4	長嶋茂雄 サイン入り写真(天覧試合)
5	長嶋茂雄 サイン入りボール①

右卿記念室「2025 コレクション前期」

No.	作品	西暦
1	吟風弄月	1951
2	猫	1987
3	桜花	1986
4	茜雲	1956
5	松竹梅	1986
6	處士風流水石間	1983
7	鶴舞	1985
8	光風万里	1984
9	幽人獨在雪月中	1965
10	四時	1938
11	南牛游北廬	年代不詳
12	万葉歌	1977
13	崩壊	1957
14	帰一	1981
15	車	1975
16	吟月	1959
17	落日	1960
18	圓月上寒山	1974
19	遅	1975
20	抱牛(複製・陶板)	1955
21	鳥	年代不詳
22	戯	1985
23	観音経	1944
24	省	年代不詳
25	威	年代不詳
26	木簡臨書	1971
27	寿	1982

右卿記念室「2025 コレクション後期」

No.	作品	西暦
1	背山臨濤	1949
2	松竹梅	1987
3	帰鳥	1951
4	旭松庵	1984
5	山行	1948
6	雷音	1985
7	飛	1970
8	鶴舞	1985
9	夜半和風剝窓紙…	1952
10	観音経	1944
11	抱神	1982
12	崩壊	1957
13	雲鶴	1955
14	岳雲	1960
15	山居秋暝	1950
16	運	1968
17	鈍	1968
18	到	1978
19	威	1981
20	抱牛(複製・陶板)	1955
21	自画像	1944
22	弾	1972
23	潭	1983
24	石	1981
25	沙	1965

No.	作品	西暦
26	木簡臨書	1971
27	燕	1960

常設展「2025 書コレクションⅠ」

No.	作品	作者	年代
1	トンパ文字「外」	浅葉克己	平成 23 年
2	蔵	上松一條	
3	虚	兔洞草民	
4	花野	大石千世	昭和 61 年
5	ベツカム「鬼」	大杉弘子	
6	圓	岡野蒼生	
7	コンポジション	梶川芳友	
8	「古への代々の文を…」	賀茂真淵	江戸中期(明和 6 年)
9	年賀状	川端康成	
10	和歌	北川佳邑	
11	花	北畑観欄	
12	崔顥詩黄鶴楼	薫思維	
13	宸翰御消息	後陽成天皇	桃山～江戸初期 (天正 19～元和 3 年)
14	寂聲	齋藤香坡	
15	児戯	斉藤青鳥	
16	一	須田剋太	昭和 63 年
17	大道	須田剋太	平成元年
18	愚徹	須田剋太	昭和 61 年
19	悦	手島岑翠	平成 30 年
20	玄妙	手島恭六	平成 10 年
21	無事	戸田提山	平成 7 年
22	神爽	中臺青陵	昭和 43 年
23	夏目漱石詩	中臺青陵	
24	爽鳩	波切童州	昭和～平成
25	詩	野口雨情	大正～昭和
26	為	平方峰壽	平成
27	瀧行	矢萩春恵	
28	漢詩	頼山陽	江戸後期(文政 10 年)
29	和歌	若山喜志子	昭和 24 年～43 年
30	「おほ君の…」	若山牧水	大正後期～昭和初期

常設展「2025 書コレクションⅡ」

No.	作品	作者	年代
1	雄志	石川雲鶴	平成 9 年
2	如是	稲村雲洞	
3	波	岩井鳳水	
4	蓮	上松一條	昭和～平成
5	丸尻「草原の虹」	大杉弘子	
6	四季の歌(秋)	岡山高蔭	大正～昭和 20 年
7	漢詩「落花水暖千…」	勝海舟	幕末～明治 32 年
8	漢詩	日下部鳴鶴	明治 13 年頃～大正 11 年
9	清水比庵の歌	桑田笹舟	昭和初期～中期
10	撕	小島碧雲	平成 9 年
11	和歌	近衛信尹	安土桃山～江戸前期
12	壮年の書	西郷隆盛	
13	生命根源	須田剋太	
14	大道	須田剋太	平成元年
15	華嚴	須田剋太	平成 2 年
16	憶劫	須田剋太	

No.	作品	作者	年代
17	烟花	角紅苑	
18	住の江の古歌	田中塊堂	昭和 30 年代
19	加藤郁乎抄	辻桃子	
20	見ざる・言わざる・聞かざる	手島恭六	平成 10 年
21	和歌「さびしさに…」	殿村藍田	昭和～平成 10 年
22	「さあ今日もがんばろう…」	豊口広	平成 10 年
23	雲遊萍寄	中臺青陵	
24	雲無心	中根海童	令和 2 年
25	焚香獨坐長松下	丹羽海鶴	明治 21 年～昭和 6 年
26	四時読書樂(秋)	細谷恵志	
27	空	堀田翠堂	平成 7 年
28	掬ふ手に	松浦江舟	平成 24 年
29	波蝕	柳谷金平	
30	国を想う	山本五十六	昭和 17 年

常設展「人類史展示室」

No.	資料名	文明	地域	時代・文化期
1	石斧	旧石器	デンマーク	新石器時代
2	石斧	旧石器	デンマーク	新石器時代
3	握斧状石器(ハンドアックス)	旧石器	アンゴラ	旧石器時代
4	片刃礫器	旧石器	アンゴラ	旧石器時代
5	握斧状石器(ハンドアックス)	旧石器	アンゴラ	旧石器時代
6	礫器	旧石器	アンゴラ	旧石器時代
7	剥片	旧石器	アンゴラ	旧石器時代
8	礫器	旧石器	アンゴラ	旧石器時代
9	石核石器	旧石器		旧石器時代 中期 旧石器以降
10	握斧状石器(ハンドアックス)	旧石器		旧石器時代アッシ ュール期
11	握斧状石器(ハンドアックス)	旧石器	フランス	旧石器時代アッシ ュール期
12	剥片	旧石器	アンゴラ	旧石器時代
13	アンフォラ型瓶	ギリシア・地中海	ギリシア	
14	アンフォラ	ギリシア・地中海	北イタリア	エトルリア文化
15	渦巻型クラテル	ギリシア・地中海	ギリシア	
16	白貝製首飾り	ギリシア・地中海	キプロス島	
17	女性像	ギリシア・地中海	地中海	
18	土製ランプ	ギリシア・地中海	ローマ	
19	土製ランプ	ギリシア・地中海	ローマ	
20	象牙製サイコロ	ギリシア・地中海	イスラエル	ローマ期
21	ガラス製香油瓶	ギリシア・地中海		
22	青銅製蝶番	ギリシア・地中海		
23	青銅製バックル	ギリシア・地中海		
24	嘴形注口付壺	メソポタミア	アゼルバイジャン	
25	動物文様円筒印章	メソポタミア		シュメール文化、 初期王朝
26	動物飾り付き三足壺	メソポタミア	イラン・ギラーン	
27	楔形文字付きレンガ	メソポタミア		
28	把手付き注口壺	メソポタミア	イラン・ギラーン	
29	筒形彩文土器	エジプト	エジプト	ナカダⅢ期
30	プタハ・ソカル・オシリス神像	エジプト	エジプト	
31	女性像	エジプト	エジプト	ナカダⅡa 期
32	ジェセル王墓の壁面装飾タイル	エジプト	エジプト	古王国時代 第3 王朝
33	木棺マスク	エジプト	エジプト	末期王朝時代
34	青銅製トキ像	エジプト	エジプト	末期王朝時代
35	鳥文様皿	メソアメリカ	マヤ中部低地	マヤ古典期後期

No.	資料名	文明	地域	時代・文化期
36	人物形オカリナ	メソアメリカ	グアテマラ、南部太平洋斜面	マヤ古典期前期
37	エエカトル座像	メソアメリカ	メキシコ	
38	翡翠製飾り	メソアメリカ		
39	ヒスイ製飾り玉	メソアメリカ	グアテマラ	
40	ヒスイ製耳飾り	メソアメリカ	グアテマラ	
41	円筒土器	メソアメリカ	グアテマラ、パテン州、中央低地	マヤ古典期後期
42	翡翠製飾り	メソアメリカ		マヤ
43	土偶頭部	メソアメリカ		
44	金製人物形杯	アンデス	ペルー	チムー文化
45	鳥象形鍔形壺	アンデス	ペルー	
46	投石紐(オンダ)	アンデス	ペルー中央海岸	イカ・チンチャ文化
47	猫科動物文様布	アンデス	ペルー南部海岸	パラカス文化
48	羽根織り貫頭衣	アンデス	ペルー南部海岸	ナスカ文化
49	木製人物像	アンデス	ペルー イカ	ワリ〜イカ
50	ハチドリ文様橋付き土器	アンデス	ペルー	ナスカ文化
51	木彫ジャガー付き秤	アンデス	ペルー北部海岸	チムー文化
52	女性土偶	インダス・インド	パキスタン バローチスタン丘陵 メヘルガル	インダス文明
53	加彩漆喰彫刻	インダス・インド	パキスタン ランディコタール遺跡	ガンダーラ文化
54	動物文様印章	インダス・インド		インダス文明
55	コブ牛土偶	インダス・インド		
56	青銅製鑿	インダス・インド	北インド ウトラパラデシュ	パラデシュ
57	男性土偶	インダス・インド	インドネシア 東部ジャワ	ドンソン文化
58	男性土偶	インダス・インド	パキスタン バローチスタン丘陵 メヘルガル?	インダス文明
59	猿彫像	インダス・インド	インダス川流域	ハラッパー文化
60	長頸壺	中国	韓国	新羅
61	天女像石彫	中国	中国 北斎	南北朝 北斎
62	彩色武人俑	中国	中国 北朝	南北朝
63	龍神文様灰陶壺	中国	中国	前漢時代
64	彩陶双耳壺	中国	中国 馬鹿窯	長江・黄河文明 馬鹿窯文化
65	青銅鼎	中国	中国	周
66	スタンブ形土製品	日本	東北~関東	縄文後期
67	突帯文土器	日本	九州地方	弥生後期
68	石包丁	日本	関東地方	弥生
69	土偶	日本	東南北~関東	縄文後期中頃
70	有孔装飾品	日本		縄文晩期
71	金製耳飾	日本		古墳
72	装身具	日本		古墳
73	装身具	日本		古墳
74	みみずく土偶	日本	関東地方	縄文後期後半
75	金製耳飾	日本		古墳
76	加曽利 E 式土器	日本		縄文中期後半
77	土鈴	日本	中部地方	縄文
78	鐸形土製品	日本		縄文後期
79	山形土偶	日本	東南北部~関東	縄文後期中頃
80	山形土偶	日本	東南北部~関東	縄文後期中頃
81	山形土偶	日本	東南北部~関東	縄文後期中~後半以降

No.	資料名	文明	地域	時代・文化期
82	骨角器	日本	青森県木造町亀ヶ岡	縄文晩期
83	磨製石斧	日本	関東	縄文中期
84	加曽利 E 式土器	日本		縄文中期後半
85	双口土器	日本		縄文後期前半
86	大洞 C2 式土器	日本	青森県	縄文晩期中頃
87	馬形埴輪	日本		古墳時代
88	有孔装飾品	日本		縄文晩期
89	土偶(頭部)	日本		縄文後期中頃
90	金製鼻飾り男子座像	中間領域	コロンビア、中央地域、カウカ谷	キンバヤ文化
91	ワニ形香炉	中間領域	コスタリカ、北部太平洋岸ニコヤ地方	V～VI期
92	土製魚形下ろし板	中間領域	コロンビア、太平洋海岸南部	トゥマコ文化、地方発展期

常設展「2025 日本画コレクションⅠ」

No.	作品	作者	年代
1	麗日	磯田長秋	昭和 10 年
2	わか葉頃	上村松園	昭和 14 年頃
3	白神花	大矢紀	昭和 63 年
4	さつき	小川芋銭	大正 5 年頃
5	梅に鷹之図(打なびき)	狩野師信(梅笑)	江戸後期(寛政 7 年)
6	葛飾早春	鐙木清方	昭和 10 年頃
7	蓬萊群鶴	川合玉堂	大正 4 年
8	山鳥	川村憲邦	昭和～平成
9	おくの細道	小杉放庵	昭和 15 年
10	行灯	小早川清	昭和初期
11	旅愁	佐藤太清	昭和 61 年
12	聖徳太子絵巻	作者不詳	鎌倉時代
13	臨水観音丈土図	高森碎巖	明治 28 年
14	八重桜	常岡文亀	
15	天覧盆栽図	富岡鉄斎	明治 28 年
16	風景	中平南海	
17	渡舟図	菱田春草	明治 33 年頃
18	富嶽神鐘	平福百穂	大正 14 年
19	花菖蒲	松下和代	平成 3～4 年
20	溪畔探梅図	松林桂月	明治 39 年頃～昭和 38 年
21	牡丹図	村上華岳	大正 10 年
22	浅峰山水図	村瀬秋水	明治元年
23	観音	安田靫彦	大正 14 年頃
24	怒涛	横山大観	明治 34 年頃
25	浅春	和田孝之	平成 6 年

常設展「2025 日本画コレクション 屏風に描かれた日本」

No.	作品	作者	年代
1	誰ヶ袖の図	作者不詳	江戸初期
2	農耕十二ヶ月の図	作者不詳	江戸時代
3	老松若松図	鈴木松年	明治 35 年
4	罌粟	前田青邨	昭和 5 年
5	貼交屏風		

常設展「2025 日本画コレクションⅡ」

No.	資料名	作者名	制作年
1	沼津千本松原	池田遙邨	大正～昭和
2	晴日	伊東深水	昭和 16～17 年
3	夏の美人	上村松園	明治 30 年代
4	にわとり	狩野満信(休伯)	江戸後期(寛政 11～天保 10 年)
5	鳴戸	狩野安信(永真)	江戸前期(寛文 2 年～貞享 2 年)
6	行水	鎬木清方	昭和 35 年
7	龍図	加山又造	昭和 63 年
8	蓬萊群鶴	川合玉堂	大正 4 年
9	たいざん木	小杉未醒	大正 8 年
10	夕映	小林古径	大正 6 年頃
11	武陵桃源	下村観山	大正期
12	魚	中川一政	
13	帰牧	菱田春草	明治 35 年
14	牡丹図	村上華岳	大正 10 年
15	溪瀑	山口蓬春	昭和 35 年頃～46 年
16	三保之不二山	横山大観	昭和 28 年頃

常設展「2025 日本画コレクションⅢ」

No.	資料名	作者名	制作年
1	雪うさぎ	伊東深水	昭和初期
2	晴れ間	上村松園	昭和 14～15 年頃
3	十二客名花双幅	狩野永岳	幕末(万延元年)
4	深川冬木 池畔の雨	鎬木清方	昭和 3 年
5	鐘馗	小杉放庵	大正 15 年
6	新雪	酒井三良	昭和 24～25 年
7	柘榴小禽図	榊原紫峰	大正 12～13 年頃
8	雪中山水	高久靄崖	江戸後期(天保 9 年)
9	香富貴	竹内栖鳳	昭和 5～10 年頃
10	秋鹿	中川一政	昭和～平成
11	猛虎	中原南溪	江戸後期
12	秋趣	橋本雅邦	明治 10 年頃
13	瀑布(流動)	菱田春草	明治 34 年
14	小春日和	前田青邨	大正～昭和 52 年
15	飛天妃図	棟方志功	昭和 33 年
16	紅葉図	村上華岳	大正 5 年
17	竜田川	森田曠平	昭和 46 年
18	秋の月	横山大観	明治 33 年頃

常設展「2025 コレクション」

No.	資料名	作者名	制作年
1	虹	足立靖子	
2	時間	足立靖子	
3	テーブル	イヴ・クライン	
4	神話	池田満寿夫	
5	旅人	池田満寿夫	
6	y-青笛川	池田満寿夫	平成 6 年
7	y-頭龍	池田満寿夫	平成 4 年
8	y-古代夢幻	池田満寿夫	平成 5 年
9	夏秋草図	今井俊満	昭和 62 年 Showa Period, 1987
10	自由	エミール＝アントワヌ・ブールデル	1913～23 年

No.	資料名	作者名	制作年
11	果実のトルソ	エミール＝アントワーヌ・ブールデル	1911 年
12	勝利	エミール＝アントワーヌ・ブールデル	1913～23 年
13	雄弁	エミール＝アントワーヌ・ブールデル	1913～23 年
14	力	エミール＝アントワーヌ・ブールデル	1913～23 年
15	天女の飛翔	北村西望	
16	サンド プレイ	金 昌永	1990 年
17	生命シリーズ～二つの再生～	剣持忠	
18	生命シリーズ～陽光から宇宙へ～	剣持忠	
19	太陽	郡和子	令和 4 年
20	木造聖観音菩薩立像	作者不詳	11 世紀後半
21	切付札二枚胴童具足	作者不詳	江戸中期
22	七宝装飾拵	作者不詳	幕末～明治
23	巳年春	須田剋太	平成元年
24	2000 年の夢	須田剋太	
25	抽象画	須田剋太	昭和 37 年
26	文字	ズビネック・セカール	1968 年
27	半身像	ズビネック・セカール	1964 年
28	少年・青い花	ズビネック・セカール	1957 年
29	無題	ズビネック・セカール	1988 年
30	無題	ズビネック・セカール	1992 年
31	胸像	ズビネック・セカール	1988 年
32	無題	ズビネック・セカール	1976～77 年
33	瘢痕	ズビネック・セカール	1976 年
34	柱	ズビネック・セカール	1967 年
35	トルソ	ズビネック・セカール	1959 年
36	無題	武政健夫	平成 19 年
37	無題	武政健夫	平成 19 年
38	ヌクトマル	流政之	
39	太陽	挾土秀平	平成 28 年
40	ネックレスの娘	東山紗智子	
41	殺すことのできない人間	フレデリック・フランク	
42	ミツマタ備長炭オブジェ3	保坂桂一	平成 13 年
43	ミツマタ備長炭オブジェ4	保坂桂一	平成 13 年
44	ミツマタ備長炭オブジェ2	保坂桂一	平成 13 年
45	ミツマタ備長炭オブジェ1	保坂桂一	平成 13 年
46	刀 銘「一葉葵紋主水正正清」	主水正正清	享保 6～15 年
47	太刀 銘「康次」	康次	鎌倉時代(建暦頃)
48	太刀 銘「了戒」	了戒	鎌倉時代(延慶頃)

※期間中一部展示替え

常設展「2025 西洋画コレクション」

No.	作品	作者	年代
1	アメリカ人闘牛士 マリアノ・セバージョス	エウヘニオ・ルーカス・ベラスケス	1840 年頃～70 年
2	聖衣剥奪	エル・グレコ 工房	17 世紀初頭
3	林檎の収穫	カミーユ・ピサロ	1882 年
4	スピリアート夫人	カレル・ヴァン・ベル	1920 年
5	波	ギュスターヴ＝クールベ	1869 年
6	ジヴェルニーの草原、朝	クロード・モネ	1888 年

No.	作品	作者	年代
7	睡蓮	クロード・モネ	1903～19 年頃
8	岸辺の小舟(ヴィル・ダブレー)	ジャン＝バティスト＝カミーユ・コロー	1865～70 年頃
9	川の女神の姿をした婦人の肖像	ジャン＝マルク・ナティエ	18 世紀
10	テネブル	ジョルジュ・ルオー	1918 年頃～58 年
11	ヴェネツィア サン・ジョルジョ・マッジョーレ島	ジョルジョ・デ・キリコ	1950 年代
12	白いドレスを着た娘	トーマス・ロス	1803～28 年
13	ガブリエルの肖像	ピエール＝オーギュスト・ルノワール	1904 年頃
14	洗濯をする農婦	フィンセント・ファン・ゴッホ	1885 年
15	海	モーリス・ド・ヴラマンク	1908 年頃～55 年
16	ラ・フェルテ・ミロン城	モーリス・ユトリロ	1939 年頃

令和 7 年 光ミュージアム 年報 第 17 号

令和 8 年 5 月 31 日発行

編集・発行 光ミュージアム

〒506-0051 岐阜県高山市中山町 175

TEL 0577-34-6065

FAX 0577-34-6065

<http://h-am.jp>